



## シドニー稲門会の人びと

People

## 会員からのメッセージ

●風光明媚な港街シドニー。Greater Sydneyでは人口450万人を超える多民族、多文化の都市で、人種もさまざま。世界への情報の発信地・集積地として発展中です。シドニー稲門会も同様で、長期居住者、日本からの駐在員、自営業者、学生と、老若男女さまざまな会員がそろっています。家族も含めれば75歳もの年齢差がある人びとが早稲田の縁で楽しく集う、国際都市らしい活発な稲門会です。

当地での日本の存在感が急激に希薄化している今こそ、豪州の方々に日本の魅力、そして実力を知らせていきたいと思います。「日本にとって、そしてアジア、大洋州にとって、さらには世界の平和と安定と繁栄にとり重要な国、豪州」——豪州の方々ととの友好、親善、相互理解のため、会員がそれぞれ努力しております。ぜひシドニーにお越しください。

大谷正矩(在シドニー29年、1961年理工)

●“尽きない為替の魅力”——早いもので南半球の暑い夏も19回目になる。東京銀行で為替ディーラーとしてスタートし、いくつかの外銀を経て1995年に第一勧業銀行(現みずほコーポレート銀行)の為替ヘッドに就任して2007年まで勤務。現在はファンド系会社のジュナックス・キャピタル・ジャパンで通貨ファンドを運営しながら、日本の投資家に種々の市場メッセージを発信している。

30年以上経験してきた為替の世界の魅力は、「国際経済や政治のエキスが凝縮した投機の世界」であるということ。また投機は博打とは峻別され、「合理性の追求であり、不条理への挑戦である」こと。為替(豪ドル)に興味のある方は弊社サイトを参照されたし。

津田 穰(1978年法学)



年次総会

●シドニーに住んで、もうすぐ20年になります。住民のほぼ3分の1を海外出生者が占めるこの街では、多様な個性と民族的背景を、お互いが尊重し合いながら暮らしています。

稲門会の会員には気候のよさと生活の質感の高さに加え、日本人(外国人)としての居心地のよさに惹かれ永住する方が多数おり、永住者の比率は三田会を圧倒しています。

世界各地の稲門会に共通していると思いますが、海外に根を張ってたくましく生活するということが、個性豊かで独立精神が旺盛な早稲田の気質そのものではないでしょうか。

青木公慈(1986年法学)

## シドニー稲門会ゴルフクラブ

2013年1月28日(月)、第29回シドニー東西大学ゴルフ対抗戦がジョージズ・リバーGCで行われました(※28日は26日土曜日が入植記念の祝日「オーストラリア・デー」だったための振替休日です。平日にサボっていたわけではありません)。

前日はサイクロン「オズワルド」の豪雨と嵐。試合決行の知らせは当日朝4時半だったにもかかわらず、予定どおり東京六大学に加え一橋、青学、上智、関学、同志社、神戸大ほか計15チーム70名が参加。雨のなか激戦が繰り広げられました。早稲田からは慶應に次ぐ人数の8名が参加。結果は2011年7月以来4回目となる優勝を勝ち取り、シドニーの森に都の西北を響き渡らせました。

今の対抗戦は2005年にスタート。年3、4回の開催で早稲田は2006年から参加しています。このほかに1982年から続く早慶戦もあり、こちらは29回中早稲田が17勝12敗。今回は2013年5月に開催の予定です。ここ数年、稲門会ゴルフメンバーが減り続けています。こちらにお越しの際には必ずご一報ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

石原 均(1978年理工)



新年の名物、花火

## シドニー稲門会について

About

## 創

立は1982年。シドニーでは校友の永住者、駐在員、そして現役学生を含めた留学生が常に多く、さらに、早稲田へ留学していたオーストラリアの人・その他の国籍の方もおり、70名前後が会員になっています。

主な活動内容は年次総会、新年会、毎月第1月曜日の定例「一月会」、東西大学ゴルフ対抗戦、講演会等ですが、帰国する駐在員や留学生の送別会を兼ねることも多数あります。現在ではOB・OG有志による東京支部も発足し、帰任歓迎会やゴルフ合宿を開催するなど、シドニーを離れた会員間の交流も続いています。また、慶應大学シドニー三田会とも恒例の早慶ゴルフ対抗戦を開催したり、新年会を合同で

開催したりするなど、交流を深めてきました。

シドニーにお越しの早稲田関係者・卒業生に一人でも多くご参加いただけるよう、アットホームかつ校友のメリットを最大限に享受できる会を目指していきます。

関根卓哉(1999年政経)



ゴルフ早慶戦

## シドニーの魅力

Charm

## 世

界的に有名なガイドブック「Lonely Planet」のWebサイトでは、シドニーについてこう語られています。

「シドニーの魅力は、あふれるほどの日光が降り注ぐ自然、目も眩む摩天楼、斬新でおいし

い料理を出すレストラン、贅沢なショッピング、そして親しみやすい街の人たち(中略)、今も荒削りでエネルギーに満ち、古いものと新しいもの、野暮なものと新しいものが、しっかりと交わっている」

シドニー湾を中心とする入り組んだ海に面し、都会なのに海が生活に密着している街シドニーでは、フェリーでの通勤もごく当たり前。都会でありながら自然がほどよく調和されており、とても住みやすい街だという点が大きな魅力です。日が長い夏なら仕事のあとにビーチやゴルフも可能です!! 機会があればぜひ、ロングステイでシドニーならではのライフスタイルをエンジョイしてみてください。

向井真理(2000年法学)



オペラハウスとシドニー港

## 会長メッセージ

資源国として経済好調なオーストラリアで最大の都市シドニーには、多くの日系企業が拠点を置き、日本からの駐在員も増加傾向です。シドニー大学をはじめ、レベルの高い大学が多く、早稲田からの留学生も学んでいます。フレンドリーなオーギー、美しい自然と温暖な気候、移民で活気のある街に魅せられた永住の方もたくさん。そして、このシドニーの魅力を経験しているワーキングホリデーの若者——さまざまな世代・背景の校友約70名からなるシドニー稲門会をひと言で表せば、「Stimulateな場」です。

ユニークな活動は、毎月第1月曜日開催の校友なら誰でも参加可能な飲み会「一月会(いちげつかい)」。多忙な会員の予定が「比較的空いていること」と、「忘れないこと」を狙ったの日程で、学生・ワーキングホリデーの方々にとっては格安の参加費で日本食にありつける集まりでもあります。

もし旅行や出張でシドニーにいらっしゃるなら、第1月曜を日程に組み入れて「一月会」にご参加なさってはいかがでしょう。おおいに歓迎いたします。

賀治宏至(コニカミノルタ オーストラリア社長、1980年商学)